

第26回全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権

首位と1打差 神奈川4位発進

第26回全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権 PRGR CUP（神奈川県新聞社など主催）第1日は22日、岡山県玉野市の東児が丘マリンヒルズGC（7033ヤード、パー72）で47都道府県の代表48チーム（開催県の岡山は2チーム）が参加して行われ、3人の合計スコアで争う団体戦で神奈川は226で首位と1打差の4位につけた。

史上初の連覇を狙う新潟と、山形、香川の3チームがトップに並んだ。神奈川以外の4位タイは岡山Aと愛媛。

神奈川は一昨年、個人戦を制した風間智行（横浜）が74の9位タイで回り、ことしの神奈川アマ王者松田永基（海老名）が75の17位タイと続き、飯塚裕一（横浜）が77で36位タイにつけた。

個人戦は昨年優勝の田村敏明（新潟）と、千野英樹（東京）が2アンダーの70で首位発進。1打差の3位に権一容（山形）がつけた。

主将風間安定感発揮

手堅くチームけん引

2006年に個人戦で優勝した風間が主将を務める神奈川は、団体戦4位と幸先よいスタートを切った。

風間は前後半をともに37にまとめ安定感を発揮した。「ティーショットは乱れたが、パットでしのいだ。団体戦で上位を目指すため、攻めすぎないように注意した」と手堅いゴルフでチームをけん引した。

過去に団体優勝を経験している飯塚はバーディーなしの77で終えて残念そう。「ミドルホールでパーを狙えば勝機はある」と巻き返しを誓った。

4年前の団体戦優勝メンバーの松田は、前半のアウトを2アンダーで回ったが、後半は5ボギーと失速。「パッティングが鍵になる。グリーン攻略を意識して優勝を目指したい」と話し、頂点を見定めた。

石川の「記念植樹」も

○…会場の東児が丘マリンヒルズ GC は、2007 年 5 月に人気プロ、石川遼が当時 15 歳のアマチュアで日本ツアー史上最年少優勝を果たしたコースとして知られている。

石川が優勝した時の最終ラウンドで、バーディーを奪った 17 番グリーン奥には「記念植樹」もあり、記念撮影のスポットになっているという。クラブハウスには、石川の使用クラブやウェアが飾られ、熱心に見入る選手もいた。

(神奈川新聞より)

個人第 1 日成績

- 2 ①千野 英樹 (東京) 70 (37・33)
- ①田村 敏明 (新潟) 70 (36・34)
- 1 ③権 一容 (山形) 71 (35・36)
- +2 ⑨風間 智行 (神奈川) 74 (37・37)
- +3 ⑰松田 永基 (神奈川) 75 (34・41)
- +5 36 飯塚 裕一 (神奈川) 77 (39・38)

団体第 1 日成績

- ①山形 225 (権 71、兼子 74、権 80)
- ①新潟 225 (田村 70、渡辺 77、渡辺 78)
- ①香川 225 (三木 74、谷本 74、中田 77)
- ④神奈川 226 (風間 74、松田 75、飯塚 77)